



とよだみつはる
豊田光治

にほんきょうさんとうつしぎだん
日本共産党津市議団

高齢者外出支援、交通弱者支援の充実を

問 自動車を運転できない人や、高齢者などの交通弱者にとって、公共交通の充実は必須であり、買い物や通院など生活に関わる問題は、交通の不便な地域にとっては深刻である。コミュニティバスについても運行回数が少ない、停留所までが遠い、逆回りもしてほしいなど、改善を求める声が多く聞かれる。コミュニティバスが運行していない地域にも、新たなコース設定を。

答 コミュニティバスは、民間バス路線が少ないか、全く通っていない中山間地域を中心に、高齢者の方を始めとする移動制約者の日常の買い物や、通院に利用していただくために、運行している。

運行に当たっては、津市地域公共交通活性化協議会を設置し、あるべき地域公共交通網や市民生活に必要な交通手段について意見交換し、地域の実情に即した輸送サービスの実現に取り組んでいる。

全国的にも交通空白地の解消が課題となっており、津市においても地域からの要望や相談に応じて、路線の統廃合や地域住民運営主体型コミュニティ交通の導入、新たな国の制度の活用などを検討し、利便性の高い公共交通の実現に取り組んでいく。

●その他の質疑・質問●

- 市町村合併以降、津市は職員数を大幅に削減し、職員の負担が増え、それに伴い市民サービスも低下している。これで津市総合計画基本構想・第2次基本計画で示す「望ましいまちの姿」を実現できるのか
- 白塚市民センターの雨漏り対策は執念を持ち原因追及を
- 市が中心となって津市の「宝物」発見運動を など



▲運行回数の少ないコミュニティバスの時刻表



くらたかんじ
倉田寛次

しみん
市民クラブ

台風21号による被害状況とその対応は

問 平成29年10月22日から23日にかけての台風第21号により、河川や道路、農地に多くの被害が出たが、津市の被害状況は、どのようであったか。

多くの被害が出ると、なかなか復旧が進まない中で、1日も早い復旧が望まれているが、被害への市の対応は。

また、復旧は、田植え時期に間に合うのか。

答 現時点で確認済みの公共土木施設の被災箇所は、171カ所、被害見込額4億9,250万円であり、農林水産業施設の被災箇所は、239カ所、被害見込額2億5,747万8,000円となっている。

復旧工事については、現在、国の災害査定を受ける準備を進めており、査定後、公共土木施設は平成30年2月ごろから、農林水産業施設は1月中旬ごろから、順次発注を行う予定である。

なお、4月下旬ごろの田植え時期には復旧が完了できるよう進めていくが、万が一、不測の事態が生じ、田植え時期に間に合わない事態となった場合は、仮配管を行い、応急的に用水の供給ができるような手だてを講じるなど、地域と相談させていただきながら、早期復旧に努めていく。

●その他の質疑・質問●

- コミュニティバスの市民の安全、安心について
- 空き家対策について
- 職員の2,500人体制について
- 選挙管理委員会に問う



▲台風第21号による被害の1日も早い復旧を